



さかな釣り

昔の人は口々に「昔は大きい魚がいたものだ・」と口にする。それは、私もなんとなくそう思う。前回出てきたヒラスズキもやはりその一つで、最近では大型と言われる魚と出会うのが難しくなっている。



ある考えによれば大きく育つ個体(魚)は決して沢山の餌を食べる事により大きく育つのではなく、あくまでも遺伝的なものなのだ。そう、親となる魚が大型なら子も大型に育つという考えだ。

や釣法の進化、そして魚の釣れるデータが多様化している現代、せめて個人的な感覚で良いので乱獲にならない釣りを心がけたいものです。

12月だと言われ、全身びしょ濡れ、ヒラスズキの口の周りは鋭く、素手で掴んだら血だらけ、安全など全くとってなかつたあの日。

投稿

「敬老の日」に寄せて

篠崎 義孝

昭和二十九年に「老人の日」が定められ慰労の催しが行われていたが、昭和四十年四月から「敬老の日」と定め国民の祝日となった。以来毎年、敬老行事が全国的に行われている。

今日は敬老会の予定であったが、台風16号のため中止となった。例年は市の老人クラブ連合会会長の挨拶、講演があり皆さんを激励し力をつけてくれる。



古事記編纂1300年記念イベントより「吉岐神楽」

絵や写真、書、詩、俳句、短歌、川柳など、多くの作品をお待ちしています。ふるって応募して下さい。お待ちしております。(株)吉岐新報社



早朝の畑延びるきゅうり姿よくあの人の子配りてみたし。テレビ前連れは飲みつつプロ野球裏番組は食べ歩き旅。

あしべ文芸第214号 俳句作品集より 村田裕子 台風はとおく東へ去りゆきて夜のしじまは葉すれさえなし

9月24日、30日は、「結核予防週間」です。結核は戦前、戦後の日本で「不治の病」と言われて恐れられてきました。今やその患者数は減少し過去の病気と思われがちですが、依然として主要な感染症であり、日本は世界の中でも中蔓延国とされています。

「天比登都柱」 小林芙蓉書 古事記編纂1300年記念イベントから